

【大河内小学校教育目標】
「自分で考え、自分で行動できる子ども」の育成
～ 学校、家庭、地域の力を結集させて～

【めざす子ども像】

- ◆ 確かな学力を備え、自分で考え、ともに学び、未来を切り拓く子ども
- ◆ 人とのつながりを大切に、命と心を大切にしている子ども
- ◆ 目標を見つけ、課題解決に向けて粘り強く取り組む子ども
- ◆ 地域を誇りに思う子ども

【めざす学校像】

- ◆ 子どもも職員も安心して学べ、働ける学校
- ◆ 家庭や地域とともにあり、笑顔が広がる学校
- ◆ “学校エネルギー”を地域に放つ学校
(子どもや授業、自分のこと、何でも語り合えて、誰も取り残さないウェルビーイングな「チーム大河内」の実現)

【めざす職員像】

- ◆ 子どもを大切に、健やかな成長をサポートする職員
- ◆ 自らの専門性を高め、時代のニーズに対応できる職員
- ◆ コンプライアンス意識を高く持ち、子どもや保護者、地域から信頼される職員

< 研究主題 >

自発的に考え、なかまと学び合う子ども
～意欲的に取り組む学習課題と、話し合う場の工夫～

<<<主な具体的取り組み>>>

1 確かな学力を備え、自分で考え、ともに学び、未来を切り拓く子どもの育成【自立する力】

- ① 授業改善に努める。教師自ら授業スキルの向上に積極的に努める。
・「楽しい授業」の創造・・・「できた!」、「わかった!」が聞こえる授業。「大河内ってすごいな!」と感じる地域教材の開発。子どもの個性(“興味関心”や“今ある力”等)を見抜く。
・伝え合う力、説明する力の鍛錬・・・授業の中で、文章記述の場面を頻繁に取り入れる。
教科、特活等で発表の実践的な機会を多くつくる。
・新タブレット端末を使った学びの継続・・・キーボードのスキルアップとデジタル教材の活用促進。
- ② 「教えるきほん」「学びのきほん」「家庭学習のてびき」「学習規律」をもとにして、子ども、保護者、学校が“学びの現在地”に関する共通理解を図り、子どもが個別最適な学習を自己調整できるようにする。
- ③ 自分の考えた道すじを、自分の持てる語彙や描いた図を使って伝え合う力、説明する力を鍛える。
- ④ 基礎的な知識・技能の定着を図った全校取り組みの継続。(「ジャンプアップテスト」「チャレンジタイム」)
- ⑤ 「宣長さんの教え(5つのチャレンジ)」「夢に向かってGo5チャレンジ!」の浸透と活用。

2 人とのつながりを大切に、命と心を大切にしている子どもの育成【共生する力】

- ① 道徳、人権・同和教育、特別支援教育の推進。
- ② 全教育活動を通しての人権感覚の涵養。
- ③ たてわり班活動の充実。(たてわり班活動を取り入れた地域との行事を企画。)

3 目標を見つけ、課題解決に向けて粘り強く取り組む子どもの育成【創造する力】

- ① なかまとともに高まりあう体育授業の充実。体力向上のための具体的取り組みの継続。
- ② 挑戦、協働等の体験活動や学校行事を通じた達成感と自己肯定感の涵養。
- ③ 元気の源になる健康教育、食教育の充実。

4 家庭と地域と学校が協働してともに地域の子どもたちを育てるといふ空気感の醸成【協働する力】

- ① 地域教材の活用と、CS、大河内地区コミュニティセンターや住民自治協議会との連携・協働。
- ② 地域と密着した命を守る防災教育の充実。(地域合同防災体験学習の実施)

5 コンプライアンス意識の向上と働く環境の整備

- ① 総勤務時間の縮減・・・教育の質の維持向上と働き方改革の両立。「週に1回の定時退校日」等。
- ② 危機管理意識の向上に努め、情報の共有・連携・連動により、自他を律する行動がとれる。

子どものこと、授業のこと、自分のこと、何でも語り合えて、誰も取り残さないウェルビーイングな「チーム大河内」の実現